

令和6年度

定例監査結果報告書

令和6年11月

香美町監査委員

(1) 令和6年度上半期行政会計収支状況

1) 一般会計歳入歳出予算の執行状況

歳 入

(単位：千円、%)

令 和 5 年 度			令 和 6 年 度		
予 算 額	収入済額	収 入 率	予 算 額	収入済額	収 入 率
17,127,437	6,727,530	39.3	18,943,543	6,899,040	36.4
内明許繰越 194,965	内明許繰越 65,456	33.6	内明許繰越 1,486,303	内明許繰越 499,769	33.6
内事故繰越 49,500	内事故繰越 0	0.0	内事故繰越 30,410	内事故繰越 24,810	81.6

*千円単位とし、千円未満は四捨五入している。

収入済額は6,899,040千円で前年同期と比べ171,510千円(2.5%)の増、収入率では2.9ポイントの減となっている。

歳 出

(単位：千円、%)

令 和 5 年 度			令 和 6 年 度		
予 算 額	支出済額	執 行 率	予 算 額	支出済額	執 行 率
17,127,437	5,046,408	29.5	18,943,543	5,792,988	30.6
内明許繰越 194,965	内明許繰越 93,220	47.8	内明許繰越 1,486,303	内明許繰越 583,445	39.3
内事故繰越 49,500	内事故繰越 35,000	70.7	内事故繰越 30,410	内事故繰越 29,684	97.6

*千円単位とし、千円未満は四捨五入している。

支出済額は5,792,988千円で前年同期と比べ746,580千円(14.8%)の増、執行率では1.1ポイントの増となっている。

2) 科目別歳入、歳出予算執行状況

歳 入

款別の状況は下表のとおりとなっている。

(単位：千円、%)

款	予 算 額	収入済額	収 入 率	前年度収入率
1. 町 税	1,549,700	796,828	51.4	51.3
2. 地方譲与税	164,844	57,498	34.9	33.7
3. 利子割交付金	1,000	391	39.1	32.6
4. 配当割交付金	12,000	4,054	33.8	21.4
5. 株式等譲渡所得割交付金	26,000	0	0.0	0.0
6. 法人事業税交付金	24,000	16,531	68.9	74.8
7. 地方消費税交付金	373,000	218,433	58.6	49.0
8. ゴルフ場利用税交付金	40	16	40.0	45.0
9. 環境性能割交付金	27,000	7,587	28.1	36.4
10. 地方特例交付金	69,143	67,143	97.1	100.0
11. 地方交付税	6,789,164	4,415,535	65.0	66.1
12. 交通安全対策特別交付金	3,000	1,089	36.3	39.7
13. 分担金及び負担金	130,787	8,559	6.5	21.9
14. 使用料及び手数料	131,905	60,465	45.8	46.1
15. 国庫支出金	1,423,219	223,100	15.7	19.4
16. 県 支 出 金	1,432,281	76,778	5.4	6.4
17. 財 産 収 入	29,474	14,764	50.1	49.7
18. 寄 附 金	1,306,897	155,227	11.9	18.6
19. 繰 入 金	1,833,216	0	0.0	0.0
20. 繰 越 金	699,857	699,857	100.0	100.0
21. 諸 収 入	563,430	75,185	13.3	23.1
22. 町 債	2,353,586	0	0.0	2.8
歳 入 合 計	18,943,543	6,899,040	36.4	39.3

*千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため合計が異なる場合がある。

歳 出

款別の状況は下表のとおりとなっている。

(単位：千円、%)

款	予 算 額	支出済額	執 行 率	前年度執行率
1. 議 会 費	101,937	52,013	51.0	51.5
2. 総 務 費	3,546,444	562,423	15.9	16.4
3. 民 生 費	3,361,070	1,160,439	34.5	31.9
4. 衛 生 費	1,213,870	480,001	39.5	41.2
5. 労 働 費	27,475	16,224	59.1	59.2
6. 農林水産業費	1,604,036	333,378	20.8	25.9
7. 商 工 費	1,176,071	247,239	21.0	24.2
8. 土 木 費	2,076,379	600,113	28.9	27.7
9. 消 防 費	1,007,362	454,874	45.2	45.2
10. 教 育 費	1,740,240	732,988	42.1	39.0
11. 災害復旧費	763,155	140,815	18.5	0.3
12. 公 債 費	2,305,607	1,012,481	43.9	48.3
13. 予 備 費	19,897	0	0.0	0.0
歳 出 合 計	18,943,543	5,792,988	30.6	29.5

*千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため合計が異なる場合がある。

3) 特別会計歳入歳出予算の執行状況

歳 入

(単位：千円、%)

会 計 名		予 算 額	収入済額	収 入 率	前年度収入率
国民健康保険事業	事業勘定	2,163,799	620,513	28.7	31.4
	佐津診療施設	47,087	4,654	9.9	14.2
	兎塚・川会診療施設	29,253	2,484	8.5	11.6
	小代診療施設	150,110	27,726	18.5	19.4
	兎塚・川会歯科診療施設	84,193	21,182	25.2	24.8
後期高齢者医療保険事業		367,990	113,578	30.9	30.8
介護保険事業		2,671,734	1,015,929	38.0	38.1
財 産 区		2,511	2,302	91.7	91.3
町立地方卸売市場事業		716	0	0.0	0.0
歳 入 合 計		5,517,393	1,808,368	32.8	34.0

* 千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため差額、合計が異なる場合がある。

収入済額は 1,808,368 千円で前年同期と比べ 23,596 千円 (△1.3%) の減額となっている。収入率では 1.2 ポイントの減となっている。

歳 出

(単位: 千円、%)

会 計 名		予 算 額	支出済額	執 行 率	前年度執行率
国民健康保険事業	事業勘定	2,163,799	655,706	30.3	32.5
	佐津診療施設	47,087	16,224	34.5	36.8
	兎塚・川会診療施設	29,253	11,233	38.4	35.2
	小代診療施設	150,110	47,917	31.9	32.0
	兎塚・川会歯科診療施設	84,193	35,422	42.1	43.5
後期高齢者医療保険事業		367,990	107,823	29.3	30.7
介護保険事業		2,671,734	998,986	37.4	37.0
財 産 区		2,511	960	38.2	0.0
町立地方卸売市場事業		716	190	26.5	13.4
歳 出 合 計		5,517,393	1,874,461	34.0	34.8

*千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため差額、合計が異なる場合がある。

支出済額は 1,874,461 千円で前年同期と比べ 610 千円 (0.0%) の増額となっている。執行率は 0.8 ポイントの減となっている。

(2) 基金の状況

令和6年9月末現在の基金の状況は、次のとおりである。

(単位：千円)

基金名	区 分	前年度末 残 高	決算剰 余金積立	9月末までの 増 減		9月末の 現在高
				積立金	取 崩	
財政調整基金		3,762,143	329,000	3,322	0	4,094,465
減債基金		443,634	0	55	0	443,689
地域振興基金		1,631,641	0	1,272	0	1,632,913
温泉地域開発基金		61,612	0	343	0	61,955
ふるさとづくり基金		1,203,226	0	0	0	1,203,226
公共施設等管理基金		935,720	0	10	0	935,730
森林環境基金		49,875	0	1	0	49,876
交通安全対策基金		32,281	0	1	0	32,282
国民健康保険財政調整基金		74,530	6,482	30	0	81,042
佐津診療所財政調整基金		9	0	0	0	9
兎塚・川会診療所財政調整基金		2	0	0	0	2
小代診療所財政調整基金		61	0	0	0	61
兎塚・川会歯科診療所財政調整基金		118,664	0	3	0	118,667
介護保険事業基金		218,269	61,411	24	0	279,704
長井財産区財政調整基金		5,880	0	0	0	5,880
土地開発基金（現金のみ）		36,319	0	7,002	0	43,321
畜産振興貸付基金・ 畜産経営安定貸付事業		30,300	0	2	0	30,302
畜産振興貸付基金・ 肉用雌牛貸付事業		80,192	0	0	0	80,192
合 計		8,684,358	396,893	12,065	0	9,093,316

*千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため差額、合計が異なる場合がある。

(3) 地方債の残高状況について

令和6年度の起債残高見込額については下記のとおりとなっている。

(単位：千円)

会計名	前年度末 残高	今年度償還見込額		今年度 借入済 額	9月末残高	今年度借 入見込額	今年度末 残高見込額
		既償還額	償還 予定額				
一般会計	17,709,893	977,685	1,262,305	0	16,732,208	2,353,586	17,823,489
普通債	13,196,115	717,095	753,115	0	12,479,020	2,083,900	13,809,805
災害復旧債	315,507	18,512	15,987	0	296,995	253,200	534,208
その他債	4,198,271	242,078	493,203	0	3,956,193	16,486	3,479,476
国民健康 保険事業	44,136	1,764	1,536	0	42,372	1,800	42,636
佐津診療 施設勘定	2,578	161	161	0	2,417	700	2,956
兎塚・川会診 療施設勘定	2,622	233	233	0	2,389	0	2,156
小代診療 施設勘定	38,936	1,370	1,142	0	37,566	1,100	37,524
公立香住 病院事業	1,354,055	48,704	48,813	0	1,305,351	70,700	1,327,238
水道事業	2,605,404	103,689	109,267	61,400	2,563,115	221,900	2,675,748
下水道事業	9,682,635	563,346	562,437	500	9,119,789	711,000	9,268,352
計	31,396,123	1,695,188	1,984,358	61,900	29,762,835	3,358,986	31,137,463

*千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため差額、合計が異なる場合がある。

地方債残高は今年度末で前年度末より 258,660 千円、率にして 0.8%減少し 31,137,463 千円となる見込みであり、町民 (15,357 人 10 月 1 日現在)一人当たりに換算すると 2,028 千円で前年度と比べ 24 千円の減となっている。今年度の償還見込額については 3,679,546 千円を見込んでいる。

(4) 公立香住病院事業の状況（上半期）

損益計算書（税抜き）は下記のとおりとなっている。

（単位：千円、％）

項 目	本年度上半期	前年度上半期	比較増減	増 減 率
医業収益(A)	553,164	563,206	△10,042	△1.8
医業費用(B)	711,934	664,961	46,973	7.1
うち減価償却費	61,625	40,355	21,270	52.7
医業損益(C) (A)－(B)	△158,770	△101,755	△57,015	—
医業外収益(D)	115,606	95,181	20,425	21.5
うち一般会計繰入金	110,502	88,796	21,706	24.4
医業外費用(E)	27,401	24,893	2,508	10.1
うち企業債利息	5,341	3,567	1,774	49.7
経常損益(F) (C)+(D)－(E)	△70,565	△31,467	△39,098	—
減価償却費を除く経常損益	△8,940	8,888	△17,828	—
さらに一般会計繰入金を除く経常損益	△119,442	△79,908	△39,534	—
特別利益(G)	76	88	△12	△13.6
特別損失(H)	4,073	2,258	1,815	80.4
その他変動額(I)	0	0	0	—
上半期純損益(J) (F)+(G)－(H)+(I)	△74,562	△33,637	△40,925	—

* 千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため差額、合計が異なる場合がある。

① 収益的収支について

病院事業は、常勤医師 7 人、会計年度医師 3 人の計 10 人体制で業務が始まった。婦人科については引き続き鳥取大学からの支援医師による月 1 回の診療体制、精神科については公立豊岡病院からの支援医師により月 2 回の診療体制となっている。その他、総合診療科に 1 人、小児科に 3 人、耳鼻咽喉科に月 2～3 回の支援医師により、外来診療機能の維持確保と常勤医師、非常勤医師の負担軽減を図っている。

前年同期と比べ入院患者は、112 人（2.0％）増の 5,732 人となり、外来患者は 31 人（0.1％）増の 21,019 人となった。

病院事業全体としての医業損益は△158,770 千円となり、これに医業外損益の 88,205 千円を加えた経常損益は△70,565 千円となり、前年同期と比較して 39,098 千円悪化した。

上半期純損益は、△74,562 千円となり、前年同期と比較して 40,925 千円悪化した。主な要因は、病院事業において外来・入院患者数は増となったが、1 人当たり単価の減などにより医業収益は減、医療外収益では一般会計繰入金が増加となったが、医療費用では給与費、委託費、減価償却費が増加している。

② 資本的収支について

収入は 29,226 千円、支出は 92,524 千円で収入不足額は 63,298 千円となっており、当年度分損益勘定留保資金 46,249 千円及び過年度分損益勘定留保資金 17,049 千円で補填している。

(5) 水道事業の状況（上半期）

損益計算書（税抜き）は下記のとおりとなっている。

（単位：千円、％）

項 目	本年度上半期	前年度上半期	比較増減	増 減 率
営業収益	157,268	156,801	467	0.3
うち水道使用料	153,307	155,078	△1,771	△1.1
うち受託工事収益	0	0	0	—
営業外収益	86,348	77,369	8,979	11.6
うち一般会計繰入金	39,107	27,797	11,310	40.7
特別利益	0	0	0	—
うち臨時利益	0	0	0	—
事業収益合計(A)	243,616	234,170	9,446	4.0
営業費用	266,477	269,086	△2,609	△1.0
うち原水及び浄水費	36,227	32,832	3,395	10.3
うち配水及び給水費	27,553	27,147	406	1.5
うち受託工事費	0	0	0	—
うち総係費	24,352	25,587	△1,235	△4.8
うち減価償却費	154,973	160,863	△5,890	△3.7
営業外費用	19,801	19,350	451	2.3
うち企業債利息	16,232	16,702	△470	△2.8
特別損失	134	20	114	570.0
うち臨時損失	134	20	114	570.0
事業費用合計(B)	286,412	288,456	△2,044	△0.7
上半期純損益(A)－(B)	△42,796	△54,286	11,490	—

* 千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため差額、合計が異なる場合がある。

① 収益的収支について

今年度上半期の有収水量は965,395 m³で前年同期に比べ14,365 m³の減、率にして1.5%の減となった。営業収益は157,268千円で前年同期と比べ467千円（0.3%）の増額となっている。主な要因は、有収水量が減少したが、消火栓関係負担金が増加したことによるものである。

上半期純損益は△42,796千円と前年同期と比べ11,490千円悪化した。

② 資本的収支について

今年度上半期の収入は97,992千円で、支出は168,139千円で不足額は70,147千円となっている。

(6) 下水道事業の状況（上半期）

損益計算書（税抜き）は下記のとおりとなっている。

（単位：千円、％）

項 目	本年度上半期	前年度上半期	比較増減	増 減 率
営業収益	161,680	166,518	△4,838	△2.9
うち下水道使用料	161,213	162,954	△1,741	△1.1
うち受託事業収益	0	0	0	—
営業外収益	526,439	636,524	△110,085	△17.3
うち一般会計繰入金	330,723	459,600	△128,877	△28.0
特別利益	0	0	0	—
うち臨時利益	0	0	0	—
事業収益合計(A)	688,119	803,042	△114,923	△14.3
営業費用	678,608	464,369	214,239	46.1
うち管渠費	20,595	20,043	552	2.8
うちポンプ場費	1,532	1,457	75	5.1
うち処理場費	72,074	70,483	1,591	2.3
うち受託事業費	0	0	0	—
うち総係費	10,448	10,025	423	4.2
うち減価償却費	327,001	339,424	△12,423	△3.7
営業外費用	81,375	86,622	△5,247	△6.1
うち企業債利息	65,228	75,084	△9,856	△13.1
特別損失	303	41	262	639.0
うち臨時損失	303	41	262	639.0
事業費用合計(B)	760,286	551,032	209,254	38.0
上半期純損益(A)－(B)	△72,167	252,010	△324,177	—

*千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため差額、合計が異なる場合がある。

① 収益的収支について

今年度上半期の下水道接続人口は 12,868 人、接続率 83.7%である。4 月から 9 月までの有収水量は 685,826 m³で、前年同期に比べ 9,559 m³（△1.4%）の減となった。営業収益は 161,680 千円で前年同期と比べ 4,838 千円（△2.9%）の減額となっている。

上半期純利益は△72,167 千円と前年同期と比べると 324,177 千円減少し、赤字となっている。

② 資本的収支について

今年度上半期の収入は 328,560 千円で、支出は 587,556 千円で不足額は 258,996 千円となっている。

(7) 国民宿舎事業の状況（上半期）

損益計算書（税抜き）は下記のとおりとなっている。

（単位：千円、％）

項 目	本年度上半期	前年度上半期	比較増減	増 減 率
営業収益	0	0	0	—
営業外収益	2,947	2,947	0	0.0
うち指定管理者納付金	2,182	2,182	0	0.0
特別利益	0	0	0	—
事業収益合計(A)	2,947	2,947	0	0.0
営業費用	10,662	10,491	171	1.6
うち減価償却費	10,534	10,428	106	1.0
営業外費用	1	0	1	皆増
うち企業債利息	1	0	1	皆増
特別損失	0	201	△201	皆減
事業費用合計(B)	10,663	10,692	△29	△0.3
上半期純損益(A)－(B)	△7,716	△7,745	29	—

* 千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため差額、合計が異なる場合がある。

* 令和5年度より国民宿舎事業特別会計から国民宿舎事業企業会計に移行した。

① 収益的収支について

今年度上半期の宿泊利用客は前年同期に比べ 57 人（4.9％）増の 1,231 人となり、食事等利用客は 18 人（2.3％）増の 806 人となった。

上半期純利益は△7,716 千円となっている。

② 資本的収支について

今年度上半期の収入は 0 千円で、支出は 2,431 千円で不足額は 2,431 千円となっている。

(8) 滞納繰越分の徴収状況

令和6年9月末現在の滞納繰越分の徴収状況は下記のとおりとなっている。

(単位：件、千円)

項 目		R6年度 滞納繰越額		R6.9月末 収入済額		R6.9月末 収入未済額	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
一般会計	町税	1,589	64,131	213	3,827	1,376	60,304
	使用料等	1,687	30,614	14	1,062	1,673	29,552
	小 計	3,276	94,745	227	4,889	3,049	89,856
特別会計	国民健康保険事業	751	24,504	149	3,820	602	20,684
	後期高齢者医療保険事業	3	291	1	95	2	196
	介護保険事業	93	815	15	117	78	698
	小 計	847	25,610	165	4,032	682	21,578
企業会計	公立香住病院事業	435	17,100	379	11,596	56	5,504
	水道事業	9,002	32,871	7,729	27,851	1,273	5,020
	下水道事業	6,584	49,729	6,021	31,917	563	17,812
	国民宿舎事業	1	400	1	400	0	0
	小 計	16,022	100,100	14,130	71,764	1,892	28,336
合 計		20,145	220,455	14,522	80,685	5,623	139,770

* 千円単位とし、千円未満は四捨五入した。そのため合計が異なる場合がある。

[定例監査結果における意見]

- 1 滞納繰越分について、新たな滞納を出さないように徴収に万全を期するよう努力されたい。